

人文科学研究所研究叢書

74.『アフロ・ユーラシア大陸の都市と社会』

2020年3月25日発行

妹尾 達彦 編著 中央大学出版部発行

本体価格8,000円（税別）

ISBN 978-4-8057-5358-3

序 アフロ・ユーラシア大陸の都市と社会をめぐって	
I ユーラシア大陸東部	
1 四世紀～九世紀の都市と社会	
後漢延康元年（二二〇）の大饗礼 —亳州市における「大饗残碑」の発見によせて—	大原 信正
隋煬帝時代の長安と洛陽	前島 佳孝
唐代皇帝田狩礼の特質 —『易経』の「三駆」解釈史を手がかりに—	顔 逸凡
東アジアの複都制 —六～十三世紀を中心に—	妹尾 達彦
2 十世紀～二十世紀の都市と社会	
北宋開封の都市文化と住民 —研究の現状と課題を中心に—	松田 亮
燕王軍の招募と華北の人々 —靖難の役における燕王軍兵力の供給源に関して—	川越 泰博
巡視と巡関 —明代首都北京防衛をめぐって—	荷見 守義
刑部左侍郎薛允升と『各省留養不符冊』 —清末の当家堂官のことば—	高遠 拓児
「敦煌」をめぐる日中関係 —一九五〇年代から八〇年代を中心に—	榎本 泰子
II ユーラシア大陸中央部	
シュメール初期王朝時代ラガシュ（ギルス）出土の エ・ミ文書における供物奉獻の祭儀	唐橋 文
ウルムチの歴史的変容と「洋行街」	新免 康
III ユーラシア大陸西部	
中近世におけるハンザ都市リューベックとハンブルク	斯波 照雄
十二世紀ブリュッセル地域の危機とアフリヘム修道院	舟橋 倫子
索引	